



# 羅針盤

## Market Forecasts by Y. san - 9月 -

### 鉄スクラップ



8月、価格指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格は41,000円/トンでスタートし、30日時点では47,000円まで上昇。9月は、韓国向け輸出価格の上昇、自動車の生産向上、スクラップの品薄からさらに上がると思われます。

### 銅



8月はLME7,800ドル/トン台、国内銅建値1,110,000円/トンで始まり、中盤まで上げ下げを繰り返し、30日時点で国内銅建値1,170,000円/トンまで上昇しました。円安、輸出価格上昇から考えて9月は月初から上がるでしょう。

### アルミ



8月はLME2,400ドル台/トンからスタート。終盤、欧州の精錬所の閉鎖により2か月ぶりにLME2,500ドル/トンまで上昇。9月は上がるでしょう。

### 産業廃棄物

全国的に廃棄物の発生減少。分別を徹底し有価物は売却や安価な処分場に出荷など、各社努力している様子。待ちの営業は限界になり、新規営業に力を入れる時です。価格ではなく提案力が第一に問われるでしょう。

## Topics

### 意匠制度の概要

今回は産廃処理、リサイクルとは少し距離を置きますが、市場で使われる製品の意匠権の登録制度について、特許庁のホームページを参考に記すことといたします。

モノづくりやデザインを担う方々にとっては非常に重要なそして強力な味方となる制度です。是非、下記URLから詳細をご覧ください。

<https://www.jpo.go.jp/system/design/gaivo/seidogaivo/torokugaivo/index.html>

#### 【意匠とは】

魅力的なデザインは、市場での競争力を高める一方で、模倣の対象になり得ます。

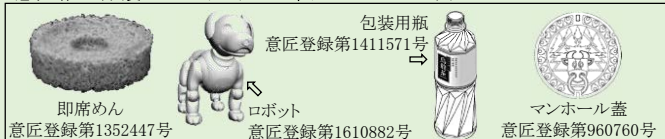
意匠制度は、新しく創作された意匠を创作者の財産と位置付け、その保護と利用のルールについて定めることにより、意匠の創作を奨励し、産業の発達に寄与することを目的としております。

意匠法の保護対象となる「意匠」とは、物品の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合であって、視覚を通じて美感を起させるものをいい、類似するデザインや物品の「部分」のデザインも「意匠」に含まれます。また、物品に記録・表示されていない画像や、建築物、内装のデザインについても、保護対象となっております。

#### 【意匠制度】

意匠権による保護を受けるためには、保護を受けようとする意匠について、特許庁に意匠登録出願をし、意匠登録を受けなければなりません。

#### 意匠権で保護される身の回りの製品デザインの例



#### 【意匠登録の主な要件】

特許庁では、出願された意匠が登録することができるものかどうかを審査します。主な意匠登録の要件は、例えば次のようなものです。

1. 工業上利用できる意匠であるか
2. 今までにない新しい意匠であるか（新規性）
3. 容易に創作をすることができたものでないか（創作非容易性）
4. 先に出願された意匠の一部と同一又は類似でないか
5. 意匠登録を受けることができない意匠ではないか（不登録事由）
6. 意匠ごとに申出しているか（一意匠一出願）
7. 他人よりも早く出願したか（先願）

#### 【意匠登録の効果】

意匠権を得た人は、登録された意匠と同一及びこれに類似する意匠にまで効力を有し、登録意匠及びこれに類似する意匠の実施をする権利を専有することができます。なお、2020年4月1日から意匠権の存続期間は意匠登録出願の日から最長で25年です。

※ 2007年3月31日以前の出願は設定登録の日から最長15年です。

※ 2007年4月1日から2020年3月31日までの出願は設定登録の日から最長20年です。

出典：特許庁ウェブサイト (<https://www.jpo.go.jp/toppage/about/index.html>)

また、上記特許庁ウェブサイトから、内容を一部編集加工して掲載

## 編集メモ

8月は全国的に猛暑と豪雨による被害が大きい月となりました。最高気温39℃を記録する場所の多発や、東北地方の線状降水帯による河川の氾濫で、収穫間近の農作物が一夜にしてすべて廃棄となるニュースに胸が痛みました。世界に目をやれば干ばつで湖底が見えるダム湖などもあり、「温暖化」の様相と思わずにはいられません。秋本番の9月に入り、スポーツの、そして読書の季節を迎えます。コロナもまだ先が読めませんが、秋の夜長に夏バテの体と心を休めて生氣を取り戻しましょう。トピックスでお伝えした意匠制度は夢があり、アイデア次第のようです。デザイナーでは無くても、実際には登録しなくても、物のデザインを考えるのは夢がありますね。

## Series

### 「私のゴルフ人生続編」第4回



営業管理部 長谷川武史

いよいよ全国プロテスト九州地区予選会へのエントリー「1枠」を掴み取る一発勝負の戦いが開始となりました。ここまでの私の過去10か月間平均スコアは「75.03」で所属コース8名の研修生の中で5番目のスコアでした。既に当確している2名のAVは「70.72」と「71.35」で常にアンダーでラウンドする実力者ですから問題なく当確です。私を含め残り「1枠」を争う目前のライバルである3・4番手2名のスコアの良し悪しにより私が3番手を掴み取る可能性は十分残っており、「69」以下で回る事が必須条件でした。ハードルは高く、過去の私の実力は殆どが「69～71」を行ったり来たりで、中々「60台」は出ない状況でした。一発勝負です。月例当日の朝、ペアリングの発表がありました。プロを入れて4名/4名/3名の3組でのラウンドとなりますが、なんと、「プロ/研修生1番手/私」が最終組でのペアリングとなったのです！「これは、まずい！ほんとにやばい！」と心の中でつぶやきながらラウンド前の練習に取り掛かりました。

最終組でのラウンドには様々な要素があります。マイナス面は同伴競技者が実力者で、プレーに圧倒され普段のゴルフが出来ない事、逆にプラス面もあり、同伴競技者のいいプレーに引張られて自分もいいゴルフが出来る事、ライバルと一緒に回らない事により一喜一憂せずに自分のプレーに集中出来る事です。私は腹を決め「最後の切符を絶対勝ち取ってやる！」と自己暗示をかけました。いよいよティーオフです！

ティーにボールが置けないほど手が震えていましたが、迷わずドライバーを手に持ち、球の軽いドロローでベストショット！バーディースタートで「今日はいける！」と確信、その後のプレーを続けました。残り4Hで5アンダーまで伸ばし、ベストスコアも狙える「ゾーン」に突入しました。続く15番左右OBのフェアウェイは狭い距離の短いミドルです。今日のラウンドで初めて迷いが生じた。ジャッジに悩んでいた時「長谷川なにを悩んでるとね？こんな所で刻んで逃げたらプロにはなれんぞ！」プロからの一言でした。アイアンで刻もうと気持ち傾きかけていた矢先の言葉だったので、その通りだと思いつつ多少の迷いを持ちドライバーを振り抜きました。結果は・・・体が止まり手打ちとなり右に大きく曲がる通称「ドックフック」が飛び出しOB！14番までの5つの貯金が2Hで3ストローク失うという予想だにしない結果となってしまったのです。体中から冷や汗が噴出しゴルフの怖さを改めて思い知らされた瞬間でした。自分を信じて15番で刻んでいたら・・・タラレバの気持ちを抱きつつ17番は何とかパーで凌ぎ、先が上がっているライバルの結果も分からないうまま結果を恐れず攻め抜きました！18番をバーディーで締め、3アンダーの「69」で決戦は終了致しました。気になるのはライバルのスコアです。結果は3番手ライバルは「79」、4番手が「77」と大きくスコアを崩し、私が1・2番手の研修生も抑えてベストスコア「69」。土壇場で「1枠」を掴み取る事が出来たのです！ラウンド後、全員がプロからアドバイスや激励の言葉を頂きました。「14番迄に5アンダーまで伸ばして、これなら行けると思った油断が招いた結果を忘れるなよ！戦う闘志は常に心に燃やしてどんな状況でも冷静に状況判断出来る頭を磨け！」何をやっても中途半端な私に対してのプロからの叱咤激励は心に突き刺さりました。九州予選会の切符を持って・・・第2ステージへいざ出陣です！